

持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた 施策の取組状況について

2026年2月17日

愛知県都市・交通局交通対策課

※本資料に記載している施策案の実施には、県・市町村議会による予算案の議決が必要となるものもある。

- 1 人口減少での公共交通の課題
- 2 県・市町村の主な取組状況
- 3 来年度の県事業の取組状況
- 4 今後のスケジュール

1 人口減少での公共交通の課題

- 2024年度のワーキンググループで議論を重ね、地域交通を確保していくための施策を考える観点として、次の3つに整理した。

観点1 幹線軸の交通の維持・充実

【主な意見】

市町村内の交通だけでは生活を守れないことから、複数市町村にまたがる交通が重要。

観点2 地域内交通のモード最適化、交通空白地解消

【主な意見】

交通空白地等で新しい取組を実施する際には、地域の関係者との調整が重要。住民の公共交通に関する理解を高める施策は効果的。

観点3 担い手の確保

【主な意見】

本県に移住してもらい、地域公共交通を支える人材として活躍していただければ、人口減少対策にもつながる。

 これらの課題に対応するため、県・市町村で連携しながら取り組んでいる。
県・市町村の主な取組状況は次スライドのとおり。

2 県・市町村の主な取組状況

観点1 幹線軸の交通の維持・充実

地域間の移動を支える幹線軸交通を維持、充実するため、幹線バスに補助を行うとともに、利便性向上のための乗り換え拠点整備、情報提供や利用を促す施策を行っていく。

	主な取組
県	<ul style="list-style-type: none">・ 複数市町村をまたがる広域的・幹線的な路線に対する補助【2025年度拡充】・ 地域の移動課題の解決に向けた新たなモビリティサービスの実証実験(MaaS等)
市町村	<ul style="list-style-type: none">・ 幹線バス路線に対する補助(岡崎市、豊田市、新城市など)・ 公共交通の利用促進に向けたマップ等の作成・配布(岡崎市、豊田市など)・ 免許返納者等を対象に高齢者パスの補助を活用したモニター調査を実施(岡崎市)・ 高校生向け通学定期券等購入補助・学生向け運賃等補助(豊田市、南知多町、設楽町)・ 隣接市町村、事業者、地域団体と連携した利用促進イベント等の開催(西尾市、新城市、田原市など)・ 待合設備(什器、トイレ等)の改修・利便性向上(新城市、設楽町)・ 企画切符の設定(新城市、南知多町)・ イベント開催中のバス路線の延伸(田原市)・ サイクルバスの運行(田原市)・ バスイベントの実施(設楽町)

2 県・市町村の主な取組状況

観点2 地域内交通のモード最適化、交通空白地解消

各地域の実情に合った交通モードへの転換や、交通空白地の解消に向けた施策を行っていく。

	主な取組
県	<ul style="list-style-type: none">住民参加による公共ライドシェア等の新たな交通モードの立上げ支援(専門人材派遣・ワークショップ運営支援)地域の移動課題の解決に向けた新たなモビリティサービスの実証実験(AIオンデマンド等)三河山間地域を運行するバス路線に対する補助
市町村	<ul style="list-style-type: none">コミュニティバス、乗合タクシー、デマンドバス等の運行公共ライドシェア等の新たな交通モードの立上げ検討グリーンスローモビリティの本格導入に向けた運行体制等の検討(岡崎市)共助交通の取組に係る情報発信や補助(豊田市)利用の少ない定時定路線のバスを相乗りタクシーに転換(西尾市)地域住民主体の交通に対する運行費補助(新城市)地域住民主体の検討組織との移動手段確保に向けた検討(新城市、南知多町)保育園、小中学校、高校への通園・通学支援や補助(豊根村)

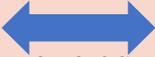
2 県・市町村の主な取組状況

観点3 担い手の確保

観点1や2の各施策の展開を担う知識や技能を有する人材の育成を進めていく。
また、ドライバー等の担い手を確保するため、部門横断的に連携して取組を進めていく。

	主な取組
県	<ul style="list-style-type: none">地域交通やまちづくりに取り組む人材を育成するためのセミナーの開催・手引き等の作成運転士など公共交通の運行に従事することの魅力や公共交通が担う多様な役割等のPRイベントの開催【2026年度新規】東三河地域における外国人向けバス運転体験・就業マッチングイベントの実施【2026年度新規】中小企業の外国人材確保支援、中小企業の採用支援、女性の活躍促進に向けた取組
市町村	<ul style="list-style-type: none">外国人バス運転士の確保に向けた事業者との包括連携協定に基づく取組(岡崎市)事業者と連携した企業説明会の開催(豊田市)市職員による運転業務に関する制度の検討(新城市)隣接市町村と連携したバス運転士確保に向けた支援(田原市)住民ドライバー等確保に向けた地域との協力体制構築(南知多町)隣接市町村との共同運営の検討(設楽町・東栄町・豊根村)自家用有償旅客運送のドライバー報酬に対する補助(豊根村)

3 来年度の県事業の取組状況

年度	2026
バス対策補助金	<div style="text-align: center;">  <p>補助金関連事務 (申請・受理・審査・支払)</p> </div> <p>【改正のポイント】(2025年度拡充)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通計画と補助制度の連動化に伴う文言修正 ○補助対象路線の要件の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・複数市町村を跨ることに関する要件を平成13年3月31日時点の状態で判断することに緩和 ・輸送量実績の要件を「連続する二事業年度」で判断することに緩和 ・経常収益が経常費用の20分の11以上に達することを求める要件を廃止 ・キロ程の要件(10km以上)を廃止 ・本WG構成員のうち、財政力指数0.6以下の自治体が主体となって事業者への委託等による運行路線は補助対象路線とする規定を新設 ○国の要綱改正に伴う補助算出方法の見直し
新たなモビリティサービス(MaaS等)の実証実験 (対象:地域を新たに選定)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>国交省補助 申請、採択</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>企画調整</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>実証実験</p> </div> </div>

3 来年度の県事業の取組状況

年度	2026
住民参加による公共ライドシェア等の新たな交通モードの立上げ支援 (対象:地域を新たに選定)	<p>国交省補助申請、採択</p> <p>企画調整</p> <p>ワークショップの開催 (各地域4回程度)</p>
新たなモビリティサービス(AIオンデマンド等)の実証実験 (対象:地域を新たに選定)	<p>国交省補助申請、採択</p> <p>企画調整</p> <p>実証実験</p>
人材育成支援 (セミナーの開催) (対象:県内全市町村、事業者)	<p>国交省補助申請、採択</p> <p>企画調整</p> <p>2回の開催を予定</p> <p>【内容】 講師:学識者(予定) 内容:公共交通のデータ分析や住民との合意形成に関するケーススタディ等の実践的な内容を組み込んだセミナー(予定)</p>

※いずれも予定であり、今後変更の可能性がある

4 今後のスケジュール

- 来年度は、今年度に引き続き、取組の進捗確認やフォローアップ、事例の横展開等を行う。
- 新たな課題が顕在化した場合や事業の深度化に向けて、施策案を検討していく。
- 県内全市町村や交通事業者などが構成員となっている県公共交通協議会において、本WGの取組について適宜情報提供を行う。

年度	2024	2025	2026		
検討会議	2回開催	○ 第3回 (3月)	年度末に1回の開催を予定		
地域交通 確保WG	3回開催	○ 第4回 (8月)	★ 第5回(今回) 【議題】 ・ 県、市町村の各 施策の進捗状況、 結果共有 ・ 新たな課題の顕 在化の状況	 第6回(予定) 【主な想定議題】 ・ 県、市町村の各 施策の進捗状況 ・ 新たな課題の顕 在化の状況	 第7回(予定) 【主な想定議題】 ・ 県、市町村の各 施策の進捗状況、 結果共有 ・ 新たな課題に対 する施策案検討、 立案